

昭和61年10月5日

健康  
特集号

市報

# にいがた



発行日 毎週日曜日 発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866

編集 企画部広報課 印刷 鶴第一印刷所

市の人口(8月末現在)

|     |           |
|-----|-----------|
| 人口  | 468,630人  |
| 男   | 228,129人  |
| 女   | 240,501人  |
| 世帯数 | 153,797世帯 |



## 秋空にジャンプ!

市では、10月12日「市民健康まつり」、11月2日「健康フェスティバル」、11月3日「健康ウォーク」など、楽しみながら参加する健康づくり運動を実施します。そこで、今回は健康特集号として、市民の皆さんから募集した「私の健康法」の文と標題を2〜3面に、イラストを4面に掲載します。この機会に健康について、もう一度考えてみませんが、(写真は、高志高校女子体操部の皆さん)

# 広げよう!健康づくりの輪

### 健康フェスティバルに寄せて

若杉市長

若杉元喜

人生八十年時代を迎え、健康の保持はますます重要な課題となっております。これまでも、医師会など関係機関の協力のもとで健康に関する各種事業を積極的に進めてきました。

そんな努力が、今年、国の健康づくりモデル事業の指定を受けることになり、来る十一月二日に「健康フェスティバル」を開催することになっています。みんなで楽しみながら参加する健康づくり運動にしていきたいと考えています。

健康づくりは、行政がいかに努力し叫べばうが、医師の技術がどんなに素晴しくとも、市民一人ひとりの具体的な健康づくりへの参加と努力の心構えが必要です。

そのためにも、誰れもが取り組めるふん囲気づくり、環境づくりが大切であり、今後、各地域から健康づくりのリーダーを選び、地域ぐるみの運動を盛り上げ、そして全市あがりの運動へと、その輪を広げていきたいと考えています。

人には、それぞれの人生があるわけですが、いろいろな問題を抱えながら生きていかなければならない私たちにとって、何よりも健康に優るものはないと思います。

日ごろ、いろいろな会合の場でよく私の健康を心配して下さる方々がおられ、本当にありがたいことだと思っております。生活は自分の適したペースを守りながら、早朝、海岸を走ったり、好きなスポーツに汗を流すよう心がけています。

ともあれ、私たちが願う「心豊かで明るく活力に満ちたまち」は、市民みんなが健康であればこそ実現できるのだと思います。

さあ、みんなが健康……をめざし頑張ろうではありませんか。



庭先で剣道の素振りをする若杉市長。